

第5節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、予防接種事業、健康診査事業、救急医療対策事業、母子保健事業、健康づくり事業、栃木市健康21計画推進事業等である。

予防接種事業では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施し、新型インフルエンザワクチン接種事業については、低所得者に対して助成を行った。また、任意予防接種の子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、小児インフルエンザについても接種費用の助成を行った。

健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導、後期高齢者健康診査を実施するとともに、介護保険法に基づく生活機能評価を実施した。さらに、国の事業としての女性特有のがん検診推進事業で、子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポン券を発行し、女性がん検診の受診勧奨を行った。

救急医療対策事業では、休日夜間における初期救急医療体制、初期小児救急医療体制及び入院治療を必要とする二次救急医療体制の充実を図った。また、小児二次救急医療対策として、鹿沼医療圏と栃木医療圏で体制整備を図り、10月から小児二次救急医療支援事業を開始した。

母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査、乳幼児の健康診査、少子化時代に沿った各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小・中学校と連携した性(生)教育を実施した。

健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を実施した。また、自殺予防対策事業として、講演会やゲートキーパー研修会を開催し、自殺予防の普及啓発を図るとともに、こころの健康相談を実施した。

栃木市健康21計画推進事業では、関係団体と連携し重点領域の班活動を取り入れ、健康づくりを推進した。さらに、普及事業として、「元気もりもり明るいちぢぎ」をスローガンに、平成22年度市民健康まつりを開催した。

保健予防担当

1 予防接種事業

小児の感染症予防のため、各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

ア 集団接種【数値は各総合支所分を含む】

区分	項目	実施期間及び会場			
		対象者及び接種方法			
		対象者数	被接種者数	接種率	備考
ポリオ (小児マヒ)		平成22年4月13日～平成22年12月20日実施(40日間) 栃木、大平、藤岡、都賀の各地域を会場として実施した。			
		対象：3か月～90か月未満の子 回数：41日以上の間隔で2回			
	1回目	1,074人	1,003人	93.4%	
	2回目	1,074人	1,023人	95.3%	

イ 個別接種【数値は各総合支所分を含む】

区分	項目	実施期間及び会場			
		対象者及び接種方法			
		対象者数	被接種者数	接種率	備考
B. C. G		通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：生後6月に至るまでの間にある者 (1歳に至るまでの者で行政措置を含む) 回数：1回			
		1,032人	1,011人	98.0%	
三種混合 百日せき ジフテリア 破傷風	1期初回	通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：3か月～90か月未満の子 回数：20日～56日の間隔で3回			
	1回目	—人	1,079人	—%	
	2回目	—人	1,083人	—%	
	3回目	—人	1,094人	—%	
	1期追加	回数：1回			
		—人	1,196人	—%	
ジフテリア 破傷風 (二種混合)	2期	通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：小学6年生(二混) 回数：1回			
		1,319人	1,189人	90.1%	

麻しん・ 風しん(混合)	第Ⅰ期	通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：生後12月から生後24月に至るまでの間にある者			
		回数：1回			
	第Ⅱ期	1,065人	1,063人	99.8%	
		通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：5才～7才未満の子で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間（幼稚園・保育園等の年長児）			
	第Ⅲ期	回数：1回			
		通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：中学校1年生に相当する年齢で、13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間			
	第Ⅳ期	回数：1回			
		通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：高校3年生に相当する年齢で、18歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間			
日本脳炎 (平成22年 4月1日現在) 3歳児に対し 積極的接種勧 奨を行った。	1期初回	通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：3才～90か月未満の子			
	1回目	-人	2,958人	-%	
	2回目	-人	2,875人	-%	
	1期追加	通年 協力医療機関で個別実施			
		対象：1期初回接種終了後1年以上経過し、90か月未満の子			
	2期	回数：1回			
通年 協力医療機関で個別実施					
対象：9歳以上13歳未満の子で希望者					
インフルエンザ (季節性)	回数：1回				
	10月18日～3月31日 協力医療機関で個別実施				
	対象：①65歳以上の希望者 ②60歳から65歳未満の者の内身体障害者1級程度の者で、接種を希望するもの				
	34,142人	20,927人	61.3%		

(2)任意予防接種【数値は各総合支所分を含む】

区 分	実 施 期 間 及 び 会 場			
	対 象 者 及 び 接 種 方 法			
	回数	接種希望者	被接種者数	接 種 率
子宮頸がん予防ワクチン	平成 22 年 10 月～平成 22 年 11 月に集団接種にて、栃木、大平、藤岡、都賀の各地域の中学校等を会場として実施した。接種費用は市が全額助成した。			
	対象：中学3年生の女子 回数：3回			
	1 回 目	6 3 4 人	6 2 9 人	9 9 . 2 %
	2 回 目	6 3 4 人	6 2 4 人	9 8 . 4 %
ヒブワクチン	10月1日～3月31日 協力医療機関で個別実施			
	対象：生後2か月齢以上5歳未満の者 回数：4回～1回 接種費用：1回あたり4,000円助成 希望者：872人 接種済回数：862回			
小児用肺炎球菌	10月1日～3月31日 協力医療機関で個別実施			
	対象：生後2か月齢以上2歳未満の者 回数：3回～1回 接種費用：1回あたり5,000円助成 希望者：671人 接種済回数：651回			
小児インフルエンザ	10月18日～3月31日 協力医療機関で個別実施			
	対象：満1歳から小学校就学前の小児 回数：年度内に2回まで 接種費用：1回あたり2,000円助成 対象者：6,786人 接種済者：4,031人 接種率：59.4%			

2 感染症予防啓発事業

食中毒予防

- ・「広報とちぎ」7月号・1月号に掲載

風邪、季節性インフルエンザの予防

- ・「広報とちぎ」12月号に掲載

3 犬の登録及び狂犬病予防注射状況（栃木地域）

	新規登録数	狂犬病 予防注射	予防注射実施内容
頭数	322頭	3,286頭	(1)集合 1次 4月に7日間(地域内31会場) 2次 10～11月に2日間(地域内10会場) (2)個別 各動物病院等において個別に実施

4 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査 (単位：人)

健診区分	受診者数	保健指導区分		
		情報提供	動機付支援	積極的支援
集団	5,177	4,409	521	247
個別	1,819	1,577	171	71
合計	6,996	5,986	692	318

(2) 健診結果説明会

実施回数	参加人数
9回	183人

(3) 特定保健指導【数値は各総合支所分を含む】

区分	対象者数	保健指導数	指導率
積極的支援	304人	190人	62.5%
動機付け支援	650	479	73.7
合計	954	669	70.1

(健康づくり部門で実施)

5 後期高齢者健康診査

受診者数 3,292人

6 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、胃がん等の各種がん検診をはじめ、歯周疾患健診や骨粗しょう症健診などを行った。

(1) 健康診査（健康増進法による）

受診者数 24名

(2) がん検診

区分	実施回数(回)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	81	4,812	13.4	3,996	412	404	0
肺がん	81	6,772	18.9	5,466	119	1,187	0
大腸がん	81	6,424	17.9	6,113	311	0	0

前立腺がん	65	2,621	21.9	2,412	209	0	0
子宮がん(頸)	67	3,594	16.4	3,543	49	0	2
子宮がん(頸)	(医療機関)	938		894	42	0	2
〃(体)		347	1.3	341	1	2	3
乳がん	67	4,949	20.1	3,216	384	1,349	0
	(医療機関)	369		308	37	23	1

(3) 肝炎ウイルス検査

区分	受診者数(人)	要精検(人)
B+C型	554	0
B型のみ	6	0
C型のみ	7	0

(4) 骨粗しょう症検診

年齢	項目	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳		
					正常範囲(人)	要指導(人)	要精検(人)
20・25歳女		1,409	3	0.2	3	0	0
30・35歳女		1,648	117	7.1	101	16	0
40歳女		962	152	15.8	129	23	0
45歳女		795	144	18.1	128	16	0
50歳女		803	175	21.8	150	23	2
55歳女		931	199	21.4	109	75	15
60歳女		1,262	338	26.8	126	179	33
65歳女		718	234	32.6	67	128	39
70歳女		931	240	25.8	58	123	59
60歳男		1,292	96	7.4	62	24	10
65歳男		750	53	7.1	34	10	9
70歳男		864	59	6.8	25	27	7
計		12,365	1,810	14.6	992	644	174

(5) 歯周疾患検診(医療機関方式)

区分	受診者数(人)	異常なし(人)	要指導(人)	要医療(人)
30歳	67	8	4	55
40歳	99	9	8	82
50歳	98	6	7	85
60歳	150	18	8	124
70歳	134	15	9	110
計	548	56	36	456

7 救急医療対策事業

(1) 市民への一次救急医療対策として、栃木地区急患センターの運営の事業を行った。

利 用 施 設	日 数	件 数
栃木地区急患センター	365日	5,794件

(2) 日曜日の夜間に初期小児救急医療が受けられるよう、小児救急医療の事業を行った。

利 用 施 設	日 数	件 数
とちの木病院	51日	680件

(3) 市民への二次救急医療対策として、病院群輪番制病院に運営費の補助を行った。

利 用 施 設	日 数	件 数
病院群輪番制病院(3病院)	365日	11,159件

(4) 小児二次救急医療対策として、鹿沼医療圏と栃木医療圏で体制整備を図り、10月から小児二次救急医療支援事業を開始した。

利 用 施 設	日 数	件 数
獨協医科大学病院	182日	3,364件

8 栃木保健福祉センター利用状況(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)

区 分	大会議室	集検室	集会室	その他	合 計
利用者数	6,810人	2,474人	144人	728人	10,156人

9 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数	受 付	200ml献血	400ml献血	成分献血	献血者計	不適格者
6日	240人	23人	128人	61人	212人	28人

10 市民健康まつり開催事業

市民の健康増進のため、平成22年度市民健康まつりを開催した。

- ・実施日：平成22年10月24日(日) *健康ポスター展示は、20日～24日
- ・場 所：福田屋百貨店栃木店・近龍寺ほか

番号	団 体 名	実 施 内 容	人 数(人)
1	医師会	市民公開講座	88
		相談等	321
		肺活量測定	100
2	歯科医師会	相談等	101
3	薬剤師会	相談等	117
4	歯科技工士会	相談等	44
5	歯科衛生士会	歯みがき指導等	85
6	栄養士会	相談等	31
7	保健委員連合会	美化キャンペーン	—

8	食生活改善推進団体連絡協議会	塩分クイズ等	85
9	母子保健推進員協議会	手作りおもちゃ配布等	350
10	鍼灸按摩マッサージ指圧師会	鍼・マッサージ等	77
11	J Aしもつけ栃木農産物直売所	新鮮野菜の販売	—
12	N P O 法人 蔵の街ウェイブ	手作り品等販売	—
13	下都賀総合病院	前日際	429
		骨密度測定	174
14	日本臨床皮膚科医会	皮膚の健康相談	71
15	ファーマシー中山	身体計測等	285
16	健康21計画(てくてく歩歩班)	運動の啓発活動	101
17	健康21計画(チームいっぽく)	禁煙相談等	33
18	抽選会		582
19	健康ポスター展示		566
20	保険年金課	相談等	60
21	健康増進課	メタボチェック等	74
		予防接種相談	45
合 計			3,819

健康づくり担当

1 母子保健事業

(1) 母子健康手帳の交付

妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・交付数 652人 (内訳) 妊娠届出 610人
 双胎 7人
 紛失等 35人

(2) 妊婦健康診査【数値は各総合支所分を含む】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目
受診者数	961人	969人	969人	952人	925人	894人	875人	1,014人	870人
回数	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計			
受診者数	803人	909人	678人	475人	287人	11,581人			

(3) 妊婦歯科健康診査【数値は各総合支所分を含む】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び衛生指導を行った。

対 象 数	受診者数	受 診 率
974人	346人	35.5%

(4) 健康教育

ア 両親(母親)教室

初妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

- ・実施数 4回1コース(年5コース)
- ・参加者 妊婦実数 107人(延べ 271人)

夫	72人	祖父母	5人
先輩ママ	56人	先輩パパ	2人

イ 子育て教室(すくすく教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。内容は、ふれあい遊び、ストレッチ、絵本の読み聞かせ、子育てアドバイス等。

- ・実施回数 10回
- ・参加者延べ数 143組

ウ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 18回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 569組

(5) 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数	対象数	受診数	受診率	要観察	治療中	要治療	要精検
乳児健康診査 (4か月児)	17	527	515	97.7	82	2	0	0
乳児健康診査 (9か月児)	18	593	569	96.0	88	2	0	2
1歳6か月児 健康診査	20	636	607	95.4	247	1	0	0

3歳児 健康診査	19	557	525	94.3	116	3	0	50
-------------	----	-----	-----	------	-----	---	---	----

(6) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 44件
- ・指導延べ数 44件

(7) こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 387件

(8) 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は各総合支所分を含む】

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数	受診数	受診率	結果内訳		
			異常なし	要経過観察	要治療
1,023人	941人	92.0%	895人	43人	3人

(9) 子育て相談（子育てサロン等）

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談の他、7か月から離乳完了期までの児とその養育者に対し、離乳食指導を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 183組

(10) 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

ア 健康診査

- ・実施回数 12回

対象数	受診数	
	616人	553人(89.8%)
26人(4.7%)		

イ 保健師による2歳児育児相談

- ・参加者延べ人数 129人

(11) 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
606人	432人	42人	89人	11人	23人	9人

(12) 健診事後教室(ちゃいちゃいくらぶ、ぺんぎん教室)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

【栃木・都賀地域で合同開催：栃木会場で実施】

	対象月齢	回数	参加者延べ数
ちゃいちゃいくらぶ	3歳未満児	11回	53組
ぺんぎん教室	3歳～就学前	8	34

(13) 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。

【栃木・都賀地域で合同開催：栃木会場で実施】

開催回数	受診児数			結果内訳		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
11回	27人	17人	44人	7人	31人	6人

(14) 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に、性(生)教育の授業協力および講演会を行った。

	対象	実施回数	参加人数
授業協力	小学校	1校(1回)	36人
	中学校	2校(2回)	160人 保護者5人

(15) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員(栃木地域80人)が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行うほか、地区公民館等で地域のこども、親同士の交流を図るため、ふれあいのつどい等を開催した。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	360人	2,561人	2人	2,923人

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。(母子保健推進員総数142人)

(16) フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図り、口腔衛生思想を高めるため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して小学1年生と年長

児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。（年1回）

・フッ素塗布者数 533人（小学1年生 289人 年長児 244人）

2 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数	参加者数	内容
メタボ予防講座	16回	242人	メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養・運動・禁煙指導を行った。
健康あつぷ講座	4	90	生活習慣病予防のため、職域を対象に健診の情報提供や運動指導を行った。
ミニミニ健康デリバリー	9	281	健康21計画の中間評価を報告し、機関・団体に合わせた情報提供と意識向上を図った。
れもんの会（自主グループ活動）	3	83	生活習慣病予防教室等修了者の自主活動のフォローとして運動指導等を行った。
その他	5	368	出前講座（生活習慣病予防等）

(2) 禁煙支援相談

禁煙を希望する者に対し、3か月間の継続的な個別支援を行い、個人に合った方法で禁煙を支援した。

・支援者数 12人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

実施回数	延べ相談者数	内容
35回（定期外15回含）	40人	保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

実施回数	述べ相談者数	内容
17回	19人	管理栄養士による個別指導

・指導内訳 高血圧症 5、糖尿病 7、腎臓病 1、脂質異常症 2、肝臓病 2、その他 3

(5) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。（栃木支部会員数92人）

・各講習会 18回

・参加人数 1,987人

また、会員相互が連携し地域の食生活改善推進を図るため、栃木市食生活改善推進団体連絡協議会を設置した

・発会式 5月25日 栃木・大平・藤岡支部 総数165人

3 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・保健師訪問指導(延べ人数)	279人	訪問世帯数	251世帯		
内訳	⎧				
・精神保健	4	・妊産婦	27	・乳幼児	141
・生活習慣病	0	・新生児	7	・低体重児	0
・他の疾患	1	・その他	0		
・心身障がい	0	・乳児	99		
	⎫				

4 栃木市健康21計画推進事業

4つの重点領域(栄養・運動・喫煙・検診)に加え、新たに自殺対策を取り上げ、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行った。また、関係機関と連携し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるように環境の整備を行った。

(1) 会議の開催

- ・栃木市健康21計画検討部会会議及び栃木市健康21計画策定庁内推進実務者会議の合同開催 2回

(2) ミニミニ健康デリバリー(中間評価の報告と健康教育)の実施

- ・9団体 281人

(3) 主な取り組み

ア 広報とちぎの健康情報コーナー

イ 窓口におけるカロリーブック配布

ウ 3歳児健診における朝食メニューのレシピ配布

エ 妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

オ 各種イベント開催及び参加

- ・健康まつり期間中に市内協力飲食店でのヘルシーメニューの提供
- ・小学生から4領域のポスター募集と健康まつり期間中の展示
- ・栃木市版子どもの料理コンクールの開催(朝食メニュー)

(4) 班活動の推進

ア チームいっぷく(喫煙班)

- ・禁煙・分煙マップの作成
- ・健康まつりでのスモーカーライザーの測定、禁煙・分煙啓発の資料掲示
- ・サマーフェスタでの禁煙・分煙の普及啓発ティッシュの配布

イ 元気もりもり歩き隊(運動班)

- ・てくてく歩歩in寺尾の開催
- ・健康まつりでのウォーキングコース紹介

ウ 作って食べよう!!え〜よ〜班(栄養班)

- ・大根レシピ作成とアグリフェスタでの配布

エ みんなの健康広め隊!(PR班)

- ・サマーフェスタやとちぎアグリフェスタにてPR活動
- ・栃木市健康21計画音頭やマスコットキャラクターを活用したPR

5 自殺予防対策事業

(1) 自殺予防講演会の開催（合同開催）

地域の関係機関、団体（医師会、自治会長、民生委員、母子保健推進員他）、一般市民を対象に講話、講演を通して自殺予防の正しい知識の普及啓発を行った。

・ 1回 参加者 180名

(2) 自殺予防ゲートキーパー研修会の開催

市役所職員を対象に自殺予防に対する正しい知識の習得と、市民のサインの気づき、必要な支援につなげるために研修会を実施した。

・ 1回 参加者 85人

(3) 研修会の開催

高齢者ふれあい相談員を対象に自殺の現状と課題について研修会を実施した。

・ 1回 参加者 高齢者ふれあい相談員460人 健康21PR班10人

(4) こころの健康相談

悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ、ストレス、不眠等の心の健康問題の相談に応じた。

・ 26回 17人